

コロナ禍の中、若者の就労を目指すプログラムを実施するためクラウドファンディングに挑戦しました。
 皆様のたくさんのご支援のおかげで、目標金額の60万円、
 そしてネクストゴールの100万円を大きく上回る1,414,000円を頂きました。
 応援して下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

ご支援いただいた

『働きたい』を応援!HAPPYジョブトレーニングがスタートします!

いよいよ、10月29日(木)より『働きたい』を応援!HAPPYジョブトレーニングがスタートします。
 仕事についていない若者が色々な体験を通して成長するプログラムとなります。
 是非、皆さんの周りでそのような方がおられたら、このプログラムをご紹介ください。
 私たちは誰もがHAPPYに過ごせる社会を目指します!



URL <https://www.facebook.com/zukahappyjob>

宝塚NPOセンターニュース TAKARAZUKA NPO CENTER NEWS

市民の手で市民活動を支える

104

このニュースの編集・発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2020.9

同じ目線の高さで寄り添い
「聞くこと」を大切に



新たに入会された皆さん 個人正会員

- 井賀 英夫

新たに入会された皆さん 賛助会員

- 特活「いたみ野良猫を
ふやさない会
みゆうみゆう
- 今井 必生
- 秋澤 辰弥
- 西川 由希枝

寄付をいただいた皆さん

- 特活「宝塚の杜芸術倶楽部
株式会社 あたらし
- 今井 必生
- 木全 吉彦
- 中山 修
- 中山 正明
- 宝塚園芸福祉協会
匿名4名

(順不同、敬称略 期間:2020年6月11日~2020年9月15日まで)

宝塚NPOセンターの ビジョン・ミッション・バリュー

VISION

一人ひとりがありたい姿で
社会参加のステージへ立てる未来

MISSION

人と社会をつなぎ、
それぞれの HAPPY を応援する

VALUE

一人ひとりのスモールステップに寄り添う
LIFE と WORK の両面から見た社会課題に向き合う
社会参加の新しい形を提案する

宝塚NPOセンター 会員募集・継続・ご寄付のお願い



<http://hnpo.net/support/>

※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。



(認定) 宝塚 NPO センター

〒665-0845
 兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1
 ソリオ1・3F
 TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799
 E-mail: zukanpo@hnpo.net
 URL: <http://hnpo.net/>
 駐車場: ソリオ1 30分 200円

発行人 中山光子

みなさまの寄付で支えられています

<http://hnpo.net/support/>
 認定 NPO 法人に寄付をすると税金が戻ります

一般社団法人クイーンエージェンシー

事業紹介 生きがいしごとサポートセンター(阪神北)

生きがいしごとサポートセンター事業(以下、生きサポ)では、「新しい働き方の創造・提案」「コミュニティ・ビジネスの起業・運営支援」を主な事業内容としています。

具体的には、地域課題解決のための起業・就業・ボランティアのマッチングなどをサポート。地域社会への貢献と生きがいのある働き方を総合的に支援しています。

これまでに約520件(県外含む)の起業を支援。豊富なノウハウや外部専門家・先輩事業家とのネットワークを活用し、個別のご相談それぞれに適した起業・運営支援を行っています。

「阪神北」地域は、宝塚市、伊丹市、川西市、三田市、猪名川町の4市1町にあたります。また、兵庫県の中で生きサポが未設置の北部、但馬地域でも出張相談を行うなど、但馬の団体支援も行っています。一方、ご相談や講座へのご参加については、地域を問わず承わっています。

令和2年度秋からは、女性起業、シニア起業などのセミナーを開催。4月～8月は新型コロナウイルスの影響で設立や活動などのご相談が例年より減少していましたが、徐々に動き始めました。セミナー・相談に留まらず活動が定着するまで皆様のサポートを行います。ご自身の思いをカタチにしたい、そんな時に「生きサポ阪神北」を思い出して、ご相談をお寄せいただければ幸いです。



NPO法人や団体設立/運営相談



参加者募集中のセミナーや、求人情報などをホームページに掲載しています。

<http://cdc.hnpo.net/>



TOPICKS

「オンライン会議システム」を活用した新たなつながりづくり

オンライン会議はwithコロナの「集まれない」中でもつながりを作っていく方法の一つ。そしてまた、遠方で会えない、様々な事情で外出できない、そんな隔たりを越える、新しいつながりを生む可能性を持っています。



市民活動でも広く活用してもらおうと、5月21日(木)、6月18日(木)の2回、「はじめてのオンライン会議体験会」を開催。体験会にはのべ31人が参加。「オンライン会議は今回がはじめて」という方も多く、20代から80代まで、幅広い年齢層の方にご参加いただきました。体験したのはオンライン会議システムの「Zoom」。基本的な使い方の説明とともに、オンラインならではの活用のポイントをお伝えした後、グループに分かれて行うオンライン会議を模擬体験していただきました。

この体験会をきっかけに、NPO法人いきいきシニアゼミナールさまから「オンライン会議を活用したいので講習会を開いてほしい」とご依頼をいただき、8月25日(火)に同法人の方々を対象にした体験会を開催。約20人が参加され、今後、ホスト(主催者)として活用するための講習会を開く計画を進めています。実際に会うことの意義も大切にしながら、それにプラスして、「オンライン」という新たな方法を様々な活動で活用できるよう取り組んでいきます。

取材に行ってきました



同じ目線で聞き合える 同じ目線で学びを伝える

今回は一般社団法人クイーンエージェンシー代表理事の朝倉万里子さんにお話を伺いました。令和2年4月に法人を設立。「話を聞く人」を最初の事業の中心と位置づけ、今は人材集めや勉強に取り組み、来年4月からの本格始動に向け様々な準備に奔走されています。

「話を聞く」を事業に! -活動を始めたきっかけ-

元々、兵庫県の第9期阪神北地域ビジョン委員会に参加し「地域の隠れた魅力の発掘と情報発信」などに取り組み、任期が終わるのを機に、何をすべきか真剣に悩まれたそうです。

活動の軸は、4市1町の活性化になること、そして社会貢献になる活動を、と考えていたところ、新型コロナウイルス禍に突入。そんな中、遠くに住む娘さんとのLINEビデオ会話で「声だけでなく顔を見ることで安心でき、身近に感じることが出来る」と気付きました。お互いの安否を気遣う不安な毎日でも、家族や身近な方々とつながり、話が出る時間はとても貴重で、自分の「気持ちの持ち方が変わった」体験をされました。

会員による相互扶助の精神 -目指すもの-

社会生活と世の中のニーズが変化の中で「話を聞いてくれる相手がいる」ことは、特に閉じこもりがちの高齢者には必要で、とても大きな価値があると確信が得られたそうです。

利害関係がなく、目線を合わせ寄り添ってくれる人の存在。

誰にも言えないことを安心して吐き出せる場。

そんな「聞く」関係では信頼が大切。そのためにも、聞き手は厳選した人をお願いしたい。将来的には会員制の相互扶助として、登録会員同士が助け合う制度を目指されています。

「聞く」方法は直接会う以外にICTの活用も。ネット環境をお持ちの高齢者を対象に、LINEやZoom等の使い方をわかりやすい言葉でお伝えしたい。そして、使えるようになった時のワクワク感やつながれた嬉しい気持ちを共有したいとのこと。将来的には、生活に役立つことを、上から目線ではなく目線を合わせた姿勢で、地域の方が自らのスキルや得意分野で力を発揮できるような活躍の場を作りたい。例えば、世間にあふれる情報に惑わされない為のお金のセミナー、家事援助、フラワーアレンジ等もメニューに入れて行ければ、と展望が広がります。

お話を伺う中で終始一貫していたのは「同じ目線で活動できる、身近な普通の人が力を発揮できる」活動方針でした。コロナ禍で新しいつながりかたが模索されている中、クイーンエージェンシーの活動は、地域に新しいつながり合い、支え合いの関係性を広げていくのではないかと…そんな未来が思い浮かびました。



MESSAGE

私たちは「話を聞く人」をメインコンセプトに活動している法人です。

モヤモヤを言葉にして吐き出したい・知人や友人には話せないが誰かに聞いて欲しい、話し相手ほしい…そんな思いを叶える場を、探している方も少なくないと感じています。

私たちは「否定も意見の押し付けもない」「ただ耳を傾けて親身になって話を聞いてくれる」「気持ちに寄り添って味方になってくれる」そんなふうにしていただける場所にしたいと、丁寧に聞くことに力を入れています。この活動を実施するにあたり、直接お会いしてお話する方法に加え、インターネットを利用したオンライン上でのお話も可能です。お一人でお悩みの方にお気軽にご活用いただけたらと思います。

当法人は会員制となっておりますので、依頼する者・依頼される者の双方が、会員であることを原則としています。

原則はあるものの幅広い年齢層の方々のニーズにお応えできるよう一般の方でも厳選のうえ有償で依頼をお受けします。

またその他にも、パソコンやスマホを社会と繋がるツールの一つにできるよう、使い方から丁寧に教えます。将来的には活動を通じて人々の要望している声に耳を傾けて、実施できる活動を増やしていきたいです。



一般社団法人
クイーンエージェンシー

